

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

事業名 一般国道152号 <small>たかとお</small> 高遠バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 長野県	
起終点 自：長野県伊那市高遠町中村 至：長野県伊那市高遠町勝間		延長 7.6km	
事業概要 一般国道152号は、長野県上田市から静岡県浜松市に至る延長約256kmの幹線道路であり、桜の名所高遠城趾公園へ通ずる観光道路でもある。高遠バイパスは、高遠地区内の線形不良を改良し、交通渋滞の緩和を目的とした延長約7.6kmの2車線道路である。			
S54年度事業化	都市計画決定 なし	S54年度用地着手	S54年度工事着手
全体事業費	約111億円	事業進捗率	97%
計画交通量	5,400台/日	供用済延長	6.9km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.1 (残事業) 11.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 5.1/200億円 (事業費：4.2/190億円 維持管理費：0.94/10億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 58/630億円 (走行時間短縮便益：54/585億円 走行費用減少便益：3.7/40億円 交通事故減少便益：0.39/4.2億円)
事業の効果等 ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） ・安全な生活環境の確保（自動車交通量1000台/12h以上かつ歩行者100人/日以上で歩道未整備区間に歩道が設置される） 他7項目に該当（定量的評価項目を除く）			
関係する地方公共団体等の意見 伊那市を含む関係4市1町1村の首長で構成する国道152号整備促進期成同盟会よりバイパスの早期完成の要望（平成20年11月5日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 高遠大橋を含む約3km区間が平成11年度に開通し、また平成18年度には市道的場公園線との交差点までの約0.8kmを供用したため、高遠地区内の交通渋滞がかなり緩和された。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに6.9kmが供用済。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成20年度末での事業進捗率は97%、用地進捗率は100%であり、残る0.7kmの工事を進め平成21年度の供用予定である。			
施設の構造や工法の変更等 平成15年度再評価で縦断計画を見直し、土留構造物の小規模化により、コスト縮減を図っている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、残区間を整備することにより、当初の目的が達成されと考えられる。			
事業概要図			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。